

平成30年度 各教科の時間の授業改善推進プラン（1）

国語	昨年度の課題	1学年は、全ての観点で、全国正答率を上回っている。その中で、比較的低いのは、「話す・聞く」の観点であり、ここに課題がある。2学年は、全ての観点で全国正答率を上回っている。その中で比較的低いのは、「言語事項」であり、ここに課題がある。3学年は、「書く」の観点のみ、全国正答率を下回っており、ここに課題がある。
	今年度の取組	1学年の聞く能力に関しては、聞く能力は、要点を捉えるという意味で、読む能力と関連している。読んで要点を捉える小テスト、聞き取って要点を捉える小テストを行う。2学年では、漢字の読み書きに関しては、1年次より毎回の宿題として取り組んでいる。文法事項、語彙指導などに、時間をとりたい。3学年では、入試に使われた課題作文なども取り入れて、課題作文を書かせる。
社会	昨年度の課題	基礎的な内容の定着のため復習の習慣化を図るとともにプリント学習を実施する。様々な社会的事象について、課題意識をもって自分の意見を表現できるようにする。そのためにグループ学習を取り入れ、思考力を高めたい。
	今年度の取組	地理的分野、歴史的分野、公民的分野ともに資料を読み取り、既習の知識と関連させ考察する力を育てるために、プリント学習やグループ学習を実施し、思考力を高める。
数学	昨年度の課題	1学年では、全ての観点において全国平均を上回っているが、数学的な見方や考え方は他の観点に比べると基準にたりず課題である。また、2学年、3学年においては、知識・理解、技能については全国平均と同程度であるが、数学的な見方や考え方が全国平均よりやや下回っているため、基本的な問題には取り組んでいるものの、活用する力を付けるための取り組みを行っていくことが課題である。
	今年度の取組	今年度は昨年度より、基礎的な力をつけるために授業での小テストなどを通して振り返る時間をより多く設定するとともに、活用する力をつけるために、各単元の終わりに発展問題や活用問題を十分に行き取り組んでいく。また、習熟度別授業をさらに活用していく。
理科	昨年度の課題	実験・観察の技能の観点で単元により差が見られる。知識・理解の観点で全体的にやや弱く、活用面では標準的であるが、基礎的な内容は学年によって十分ではない。基礎的な内容を繰り返し学習し、教材の工夫をして基礎的な内容の定着を図り、思考・表現や知識・理解の観点を伸ばしていくことが課題である。
	今年度の取組	1学年は思考力・判断力で目標値を上回っているが、表現力では大きく下回っていた。2学年では全ての観点で目標値を上回っていたが、表現力が最も低かった。3学年では昨年度より数値は上昇しているが、全ての観点で目標値を下回っており、思考力・判断力がもっとも低かった。全ての学年で思考力や判断力を改善する必要があるため、考察などをじっくり考える時間を取ることで、また多くの実験を行うことで思考力、判断力とともに、実験技能を身につけさせたい。
音楽	昨年度の課題	歌唱、リコーダー演奏技術ともに個人の技術力の差が大きい。楽譜に記載されている内容を理解し、各自が主体的に取り組めるようにする。全体練習の時間に余裕をもって確保できるように、それまでの時間配分を計画的に行う必要がある。
	今年度の取組	1学年は基礎的な演奏技術や歌唱を丁寧に学び、音楽を鑑賞する態度も身につけさせていく。2学年は演奏の表現をより広げていくため、楽譜の中に記載されている基本的な楽典をしっかりと理解できるようにする。3学年は音楽鑑賞教室を含め、鑑賞教材を幅広く学び、多くの分野の音楽を味わう機会を作り、その上で、自分達の合唱や合奏の表現力を向上させていく。

平成30年度 各教科の時間の授業改善推進プラン（2）

美術	昨年度の課題	美術館・大学との協同により進める美術鑑賞授業のプログラムに一定の成果を得ることができている。さらに中学生が自主的な取り組みをできるように、授業内容と鑑賞プログラムの関連付けや意識付けを丁寧に行う必要がある
	今年度の取組	1学年には自身の作品と美術館作品の関連性を発見できるよう鑑賞の意味を伝える。2学年には美術と社会とのかかわりを学芸員や大学生からも吸収する場面を作る。3学年は3年間を通じての美術鑑賞のプログラムの振り返りレポートを作り自身の変化に目を向ける取り組みをする。
保健体育	昨年度の課題	昨年度の体力テストでは、全国平均より上回っている種目は長座体前屈で、下回っている種目は持久走とハンドボール投げである。特に、運動部に所属していない生徒は、体育実技の授業以外で自主的に運動する機会が少ない。また、昼休みの校庭や体育館で体を動かして遊ぶ生徒も、運動が得意な生徒ばかりで女子は全体の2割くらいである。
	今年度の取組	昨年度の課題を踏まえて、体育実技の授業で3～5分間走や補強運動を取り入れ、単元につながるように体力向上を図っていく。また、保健体育の授業を通して、運動の大切さや運動の仕方を伝え、実生活でも自分の体力向上プランを立て、実践できるよう促していく。授業以外では、生徒会活動で健康委員によるスポーツデーを企画したり、生徒会デーで異学年交流も図りつつ、一緒にスポーツを楽しむ機会をつくっていく。
技術・家庭	昨年度の課題	＜技術＞興味・関心もてる教材設定・研究に努め、学習意欲を高める。物づくりを通して、技能や創意工夫を学び、座学より知識を習得し、その知識と物づくりとの関連性を知る。 ＜家庭＞家庭における経験知が少ない生徒でも理解しやすく、具体的な教材を工夫し、全体指導で理解できる生徒を増やしていきたい。実習を多く取り上げ、生活の自立に必要な基礎的知識・技能の定着を図る。
	今年度の取組	＜技術＞ものづくりを中心とした授業を通して、技能や創意工夫を学び、作る楽しさや、完成の喜び、達成感を体験させ、課題解決能力を育成する。座学より知識を習得し、その知識ともものづくりとの関連性を知る。 ＜家庭＞家庭生活をよりよくするための基礎的知識・技術を確実に習得させ、各自が家庭で実践できる能力を育てていきたい。被服実習・調理実習における技能の個人差を考慮に入れ、各人の能力に合った指導を工夫する。
外国語（英語・国際）	昨年度の課題	区の学力調査で英語は観点別・基礎・活用の全てで目標値を上回ったが、少人数制授業1年目ということで、協同学習や表現活動の活性化が課題となった。また国際科の授業では、コミュニケーションに活用できる技能の育成という視点から、「話すこと」「書くこと」などの表現活動を改善していく必要がある。
	今年度の取組	1学年は今後の学習の中で特に力をいれたい発音、スピーキングなどの表現活動に重点を置く。NTとの連携やICT機器の利用を取り入れる。2学年はさらなる語彙の確実な定着を図り、それを用いて自己の考えや意見を簡潔に表現できる能力をバランス良く育成するため、ペアワークやグループによる協同学習の実施を通して表現活動を充実させる。3学年は、基礎・基本の上に、日常的な話題や社会の事実について自分の考えを表現したり、伝える内容を整理しながら書くなどの発展的な表現活動の場をさらに増やしていく。入試を見据えた読解や文法等の演習も充実させる。

平成30年度 道徳科、特別活動、総合的な学習の時間の授業改善推進プラン

道徳	昨年度の課題	計画的に実施することができたが、行事等の準備のため、潰さざるをえなかった時間が若干あった。また、土曜授業の日に道徳の授業を入れることが多いが、そうすると、一日おいてまた道徳があるので、土曜には入れないようにしたい。内容的には、副読本以外の資料も使い、話し合い活動を中心にした授業なども行えたが、さらに、幅広い学習活動を研究したい。来年度に向けて、道徳の時間の評価についての研究も行う。
	今年度の取組	道徳授業地区公開講座について、学年便りで内容の予告を行う、授業の様子を学年便りで紹介するなどの方法で、少しでも参加者を増やし、盛り上げていきたい。授業の内容に関しては、視聴覚教材の使用、役割演技などの学習活動なども取り入れていきたい。評価に関しては、研修会などを通して、研究、話し合いをしていく。
特別活動	昨年度の課題	企画・立案し計画的に実施することができた。生徒会活動では、生徒会朝礼、専門委員会・中央委員会など運営、昼休みの体育館の管理、生徒会主催行事の運営などを自主的・自治的に実施できた。生徒会選挙等民主的な運営に力を入れていきたい。防災訓練では、毎月の避難訓練をはじめ、昨年度同様Jアラートの訓練を実施した。11月の校内防災学習では、1年生は避難所設営、2年生は消火・救護訓練を実施し、3月3年生は救命技能認定講習を実施した。
	今年度の取組	毎月の専門委員会・中央委員会を通して民主的・自治的な生徒会運営を実施していきたい。生徒会主催行事の充実を期していきたい。集団活動を充実させ、より質の高い集団になるよう取り組んでいきたい。また、防災訓練を一層充実させ、今年度も救命技能認定講習を実施し、認定証を取得したい。
総合的な学習の時間	昨年度の課題	計画的に実施することができたが、学校行事等の準備のため、若干実施できない部分もあった。1学年では移動教室・職業調べ・進路学習・キャリア教育、2学年は職場体験・ボランティア活動・進路学習・キャリア教育、3学年では修学旅行・進路学習・キャリア教育・ボランティア活動を実施した。次年度も時間数を確保して実施していく。
	今年度の取組	1学年は前期には移動教室を通して、調べ学習を事前事後学習として行い、後期には職業調べ・進路学習等を行う。2学年は前期には進路学習・ボランティア活動を行い、後期には職場体験の事前事後学習、キャリア教育を行う。3学年は前期には修学旅行を通して、調査活動等を行い、事前事後学習を行い、後期には進路学習・キャリア教育・ボランティア活動を行う。